

# 社会福祉法人の会計処理 合併、事業譲渡を整理

## 厚労省案 国庫補助金の扱いも説明

社会福祉法人の合併、事業譲渡の会計処理に関する検討会が5日、開かれた。厚生労働省は、会計上で合併は「統合」、事業譲渡は「取得」と定義する案を示した。国庫補助金の扱いについては、10年以上経過した事業を無償で譲り受けて厚労行政事業に活用するなど、一定の条件に該当する場合を除き、返還が必要になることも説明した。

結合日の時価で計算を使い、時価と支払対価で差額が生じると、原則として「のれん」として扱うことを提案した。

検討にあたっては、企業会計をベースとしているため、社会福祉法人の特性と合わない面がある。

例えば、「統合」は会計上で「統合する当事者が事業の支配を獲得しないこと」と定められる。しかし、持ち分のない社会福祉法人には「支配」という概念はなく、委員から「社会福祉法人独自の表現に変えるべき」との指摘が出た。

だが、大半の委員は「社会福祉法人だけ異なる表現を使うのは適当ではない」との意見だった。(榎戸新)

### 女子が男子を抜く 医療・福祉の初任給

厚労省調査

厚生労働省は4日、「2019年賃金構造基本統計調査(初任給)」の結果をまとめた。「医療・福祉」業の初任給は12大産業中、大卒が下から4番目、高卒が2番目に低かった。

調査は、10人以上の常用労働者を雇用する7万8482事業所を対象に実施。このうち新規学卒者を採用した1万4942事業所の6月分の賃金状況をまとめた。

「医療・福祉」の初任給は、大卒20万6900円(前年比5400円増)、高専・短大卒18万9400円(5700円増)、高卒16万5400円(6200円増)。男女別にみると、男子は大卒20万4000円(10000円減)、高専・短大卒19万2700円(2600円増)、高卒16万7200円(7100円増)。女子は大卒20

万8100円(7900円増)、高専・短大卒18万8800円(6300円増)、高卒16万4600円(5700円増)だった。

全産業平均と比較すると、大卒が3300円、高卒が2000円低く、高専・短大卒が5500円高い。男子は大卒が8800円、高卒が1700円低く、女子は高卒が同額、大卒は1200円高い。

初任給が最も高い産業は、男子の大卒が「学術研究・技術・専門サービス」、高専・短大卒が「学術研究・技術・福祉」、高卒が「建設」で、女子は大卒が「学術研究・技術・専門サービス」、高専・短大卒が「情報・通信」、高卒が「運輸・郵便」だった。(井口拓治)